

# 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和5年10月5日開催

- No. 1 **消滅可能性都市から脱却できるような環境整備について**  
市長公室
- No. 2 **モンテディオ山形新スタジアム建設の進捗状況について**  
文化スポーツ課
- No. 3 **次世代自動車社会の実現に向けた取り組みについて**  
生活環境課
- No. 4 **循環型社会の実現について**  
生活環境課
- No. 5 **天童市におけるSDGs（持続可能な開発）に関する取り組みについて**  
市長公室
- No. 6 **通学路の除草について**  
建設課、教育総務課
- No. 7 **公道に面した耕作放棄地による通行の妨げ防止について**  
建設課、農業委員会
- No. 8 **地区レクリエーション大会の日程調整における市側の配慮について**  
総務課、生涯学習課
- No. 9 **ラ・フランスマラソンコース等の整備について**  
文化スポーツ課

# 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和5年10月5日開催

No.	1	標 題	消滅可能性都市から脱却できるような環境整備について
所管課等		市長公室	
<p>《市民のこえ》</p> <p>2040年までに20歳から40歳までの女性が半分以上減少し、消滅する可能性のある都市である消滅可能性都市に天童市も該当しています。そこで、県外に進学しても就労等で天童市に戻ってきてもらえるような環境の整備に力を入れていただきたいと考えていますが、市ではこの問題に対してどのような対応施策を考えていますか。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>市では、令和2年度に策定した天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略等において、将来の人口を推計し、若い世代が安心して暮らせるまちを目指して取り組んでいます。</p> <p>令和2年国勢調査時点での市の年齢別人口移動を分析しますと、進学・就職に起因すると思われる15～19歳の転出が多く見られますが、20歳代においては一定程度のUターンがあります。</p> <p>若い男性・女性のUターン就職や定住化を図る施策については、工業団地造成による雇用対策や、小中学校入学応援金エール天（10）の実施、放課後児童クラブの充実などの子育て支援策を行っており、市としての魅力を上げる総合的な対策が重要だと考えています。</p> <p>今後とも効果的な施策を実施していきたいと考えています。</p>			

No.	2	標 題	モンテディオ山形新スタジアム建設の進捗状況について
所管課等		文化スポーツ課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>昨年の懇談会の提言にもありましたが、スタジアムを活かしたまちづくりについてスタジアム本体の話が固まってからと考えているとのことで十分理解しています。しかしながら、県政においてもマスコミに提供されている話題として県体育館、武道館の老朽化、蔵王温泉のスケート場建設要望、高校、中学校の体育館の冷房設置検討など、財政面等で様々な課題に直面しているようです。今後のスタジアムを活かしたまちづくりが早期に実現するためにも、市行政による県への強めの働きかけを期待しています。</p> <p>また、市財政も各要望に応える為に大変苦慮されていると思いますが、スタジアム完成を優先的に行う事が市並びに干布地域の発展につながると思っていますので、昨年度と比較した進捗状況についてお知らせ頂ければ幸いです。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>昨年のまちづくり懇談会では、干布の皆様にも、次の2つをお話いたしました。</p> <p>一つ目はモンテディオ山形と山形県と三者で話し合いを進めているということと、二つ目はモンテディオ山形に対し、具体的な整備計画の作成をお願いしているとい</p>			

# 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和5年10月5日開催

う内容でした。

それから1年経過して現段階は、モンテディオ山形、県、市が、新スタジアムをつくりたいという方向で一致し、スタジアムの所有について、民間所有という方向で話を進めています。民間所有となると建設に係る許認可や建設資金等々の課題が生じることから、国や関係団体と協議を重ねているところです。

新スタジアムが完成すれば、干布地域をはじめ、天童市、山形県の大きな拠点となることから、将来に過度の負担とならないよう最大限配慮しながら、御提言のとおり、県にも御理解をいただけるよう、話し合いを進めていきます。

No.	<b>3</b>	標 題	<b>次世代自動車社会の実現に向けた取り組みについて</b>
所管課等		生活環境課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>政府は「2035年まで乗用車新車販売の電動化率100パーセント」を掲げ、急速充電器の普及に乗り出しています。</p> <p>天童市においても、道の駅天童温泉に急速充電器が1台設置されていますが、鍵を事務室に借りなければならぬ、夜間は使用できない等の制約があります。</p> <p>近隣の道の駅に設置されている急速充電器は、EV充電認証カードや現金で24時間利用が可能です。</p> <p>カーボンニュートラル社会の実現や災害時におけるEVの有効活用等に向け、急速充電器の利用拡大及び高性能急速充電器の設置に関し、天童市ではどのような将来ビジョンをお持ちなのか、お聞かせください。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>電気自動車の普及はカーボンニュートラル社会の実現のための重要な要素と考えており、今年度から太陽光設備と同時に設置する場合はV2H（Vehicle to Home）への補助を始めています。V2Hは電気自動車に蓄えられた電力を家庭用に活用する仕組みで、停電時等に自家消費が可能になります。今年度の受付は終了しておりますが、今後も太陽光等の再生可能エネルギー及び電気自動車等の普及に取り組んでいきます。</p> <p>道の駅天童温泉に現在設置している急速充電器については、設備全体を取り替えない限り、キャッシュレス決済や24時間利用に対応することができません。取替にも高額な費用が必要であることから、更新の際に利用者の利便性を考慮して機器を選定していきます。</p> <p>なお、今後の公共施設等への急速充電器の設置については、電気自動車の普及状況や民間での設置状況などを注視しながら検討します。</p>			

No.	<b>4</b>	標 題	<b>循環型社会の実現について</b>
所管課等		生活環境課	
<p>《市民のこえ》</p>			

# 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和5年10月5日開催

北海道のニセコ町に設置されているごみステーションでは、隣に花壇やテーブルと椅子が置かれ、まさしく生活と環境が調和した環境モデル都市の風景が確認できます。人口や風土、住民の国籍等の文化の違いはありますが、天童市の中心市街地においても、このような風景が実現できるのではないかと考えています。

天童市においては、ごみステーションが老朽化している地域があります。今後のまちづくりとごみ問題は関係性が高いと認識していますが、中長期的にごみステーションの建て替え等のプランがありましたら、将来的なビジョン等をお聞かせください。

## <回答及び対応状況>

本市においては、地域の実情や集積所を利用する住民のごみ排出の利便性を考慮する必要があることから、ごみ集積所の設置、建て替え及び維持管理等について、それぞれの地域の町内会等で行っています。

しかし、今後のごみ集積所の在り方については、社会の変化に対応した維持管理の方法を研究していかなければならないと考えています。

また、ごみ集積所設置費用等の一部を補助する制度がありますので、建て替え等の御予定がありましたら、生活環境課へ御連絡いただきますようお願いいたします。

No.	5	標 題	天童市におけるSDGs（持続可能な開発）に関する取り組みについて
所管課等		市長公室	

## 《市民のこえ》

脱炭素への取組みや積極的な子育て支援等、いわゆる縦割りの視点で見れば県内の他の自治体と比べても先行している政策が多いと認識しています。一方で、内閣府地方創生推進室が2018年度（平成30年度）から推し進めている「SDGs未来都市」に登録された自治体（飯豊町・鶴岡市・米沢市・長井市）や南陽市等と比べると市民や市役所職員のSDGsに関する認識や取組みが少しだけ遅れているという状況を気にしています。

今後の市政において、「SDGs未来都市」の認定を目指す構想があるのかを、お聞かせください。

また、各地区で行われているまちづくり懇談会で議論された課題を、SDGsの17目標に沿ってまとめ、分析・回答されることを御提案します。

## <回答及び対応状況>

本市においては、令和3年3月に策定した「第2期天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「SDGs未来都市天童モデルの創造」を掲げ、持続可能な資源循環と脱炭素化（ゼロカーボン）の取組を進めることとしています。

令和3年度には「ゼロカーボン・シティ」の宣言を行ったほか、令和4年度には企業版ふるさと納税を活用し低炭素型公用車として電気軽自動車を4台導入するなど、着実に取り組んでいます。

このように本市独自の取組みを行ってはいますが、内閣府が選定する「SDGs未来都市」への申請は現在のところ考えていません。

引き続き国連の「持続可能な開発目標」に沿って市政の施策を実施していきたい

# 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和5年10月5日開催

と考えています。

また、まちづくり懇談会のSDGsによる分析については、提案として受け止めさせていただきます。

No.	6	標 題	通学路の除草について
所管課等		建設課、教育総務課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>小学生の通学路になっている歩道のコンクリート面が劣化して草が生えている状態になっているため、町内の育成会メンバーが交代して除草を実施していますが、仕事等の関係から負担が大きくなってきており、除草を定期的にやっていただけないでしょうか。また、劣化した歩道の補修をしていただければ草も生えなくなると思います。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>干布地域の皆様におかれましては、市道の美化活動に御協力いただいていることに感謝申し上げます。</p> <p>御提言にある歩道については、除草や劣化箇所の調査を行い、必要な補修を行いますので、引き続き、無理のない範囲で道路美化活動についての御協力をお願いします。</p> <p>今後も、地域の皆様方との協働で、市道の維持管理を行っていきたいと考えています。</p>			

No.	7	標 題	公道に面した耕作放棄地による通行の妨げ防止について
所管課等		建設課、農業委員会	
<p>《市民のこえ》</p> <p>ここ数年の間に様々な事情で耕作放棄地が多くなっていますが、秋口になると除草を実施していないため公道に面している耕作放棄地の草が路面に倒れこんで通行の妨げになり、町内会の方に苦情が寄せられています。毎年決まった場所で発生していることから、その時期になりましたらパトロールをしていただいで、耕作放棄地の所有者に指導していただけないでしょうか。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>市農業委員会では、毎年夏、地域の農業者の代表とともに遊休農地実態調査を実施しており、御指摘の農地は、令和2年度から遊休農地に認定されています。</p> <p>調査後、農地所有者に対し農地の適正な管理を促す文書を発出し、当該農地の外周部は草刈りが行われていることを確認しています。</p> <p>今年度も9月1日に干布地区の遊休農地実態調査を実施していますが、当該農地は前述のとおり外周部のみ草刈りが行われている状況で、遊休農地の解消には至っていませんでした。</p>			

# 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和5年10月5日開催

今後も引き続き農地の適正な管理を求めるとともに、地区担当農業委員・農地利用最適化推進委員と連携し、遊休農地の解消に努めます。

なお、車両の通行に支障をきたすような場合には、市農業委員会事務局又は市建設課まで御連絡いただきますようお願いいたします。

No.	8	標 題	地区レクリエーション大会の日程調整における市側の配慮について
所管課等		総務課、生涯学習課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>天童市では、9月の第一日曜日を地区レクリエーション大会の開催日としている地域がほとんどです。干布地域では今年度、干布小学校のグラウンドで個人参加型のニュースポーツ大会を実施する計画をしていましたが、暑さ対策で急遽冷房を効かせた公民館内を主な開催場所にしての開催とすることで対応しました。</p> <p>近年の気候を考慮すると、来年度も9月の第一週目では屋外の運動に適さない危険な暑さになる可能性が大変高いのではないかと思います。</p> <p>そこで、来年度以降の実施日を検討するにあたり、より多くの地域住民が参加できるようにするために、市が主催する他の事業と重ならない必要があると考えます。日程調整について御配慮をいただき、9月の第一週目以降で、開催の目安となる他の事業が実施されない週末を設けて、周知していただけないでしょうか。</p>			
<p>&lt;回答及び対応状況&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、制限されてきた地域活動等が、ようやく実施できる状況となったところ、例年になく極端な暑さに見舞われ、各地区で9月3日に開催を予定していた地区レクリエーション大会が熱中症等事故を回避するため、多くの地区で中止を決定しました。</p> <p>来年度以降も今年同様の猛暑になることが予想され、9月中旬からは稲刈りや10月にはラフランスの収穫等で忙しい時期となります。天候や農作物の収穫期を考慮すると、従来通りの日程での事業開催は難しくなると思われますので、事業日程及び内容等について、各市立公民館を中心として、御検討くださいますようお願いいたします。</p>			

No.	9	標 題	ラ・フランスマラソンコース等の整備について
所管課等		文化スポーツ課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>毎年11月に行われている天童ラ・フランスマラソンのコースの大部分を干布地域で占めています。近年、健康志向の高まり等の理由から普段から天童ラ・フランスマラソンのコースを走っているランナーが増えてきています。そこで、新たな賑わいを創造するために、ハーフマラソンのコースにもなっている道路、主に奥の細道紅花ロードをメインに「グリーンライン」、「簡易トイレ」、「標識（距離数）」、を設置していただき、ランニングコースとして整備してみたいかでしょうか。</p>			

## 干布まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和5年10月5日開催

### <回答及び対応状況>

例年、本市の天童ラ・フランスマラソンの開催につきまして、多大なる御協力をいただき感謝申し上げます。

今年、第10回大会となるラ・フランスマラソンは、全国の皆様から昨年度の倍の4,100人を超えるエントリーをいただきました。本市を代表するイベントとなりましたことは、干布地域の皆様をはじめとする関係者皆様の御支援の賜物です。

御提言いただいたラ・フランスマラソンのコースとなる奥の細道紅花ロードには、歩道が整備されていないため、歩行する際は十分な注意が必要です。

さらに、この道路は頻繁に普通乗用車や大型車両が、時速60キロ程度で走行する状況となっており、宅地がなく夜間は非常に暗い環境となっています。

つきましては、安全面及び防犯面を第一に考えますと、ランニングコースとしての整備は大変厳しいため、御理解くださいますようお願いいたします。